

ごみ減量・プロジェクトのまとめ

1. プロジェクト名

ごみ減量・プロジェクト～“1万トン減らそう”未来のために!!～

2. 目的

一般廃棄物処理基本計画の中間年度でもある平成 27 年度を基準年度とし、平成 29 年度から令和元年度（平成 31 年度）までの3か年で焼却処理量を1万トン減量することを目的としました。

3. 目標値算出方法

新焼却炉 100t×2 炉=200 t

$200 \text{ t} \times 365 \text{ 日} \times 0.767$ （稼働率：定期点検等 280 日/365 日）
=55,991 t

$55,991 \text{ t} \times 0.96$ （調整稼働率：故障等やむを得ない際の稼働停止）
=53,751 t

$53,751 \text{ t} \div 1.1$ （災害率）=48,865 t

58,340 t（基準年度：平成 27 年度）－48,865 t（新炉の安定稼働）=9,475 t

58,340 t（ // ）－48,099 t（基本計画令和元年度目標値）=10,241 t

4. 達成効果

1万トン削減により一般廃棄物処理基本計画令和元年度目標値の達成に近づけることができ、かつ新焼却炉の安定的稼働が可能になると考えていました。

5. 削減手法及び各削減量

(1) 生ごみの水切り

★生ごみに含まれている水分：約 2,300 t

【 $34,140 \text{ t} \times 34.4\%$ （手付かず食品 6.9% 除く） $\times 20\%$ （水分 80%
→60%） $= 2,349 \text{ t}$ 】

(2) 食品ロスの削減

★可燃ごみに含まれている手付かず食品：約 2,300 t

【 $34,140 \text{ t} \times 6.9\% = 2,356 \text{ t}$ 】

(3) 雑紙の分別 （約 5,500 t）

★可燃ごみに含まれているリサイクル可能な紙類

【 $34,140 \text{ t} \times 16.1\% = 5,497 \text{ t}$ 】

※ 使用データ：

□平成 27 年度家庭系可燃ごみ（直接搬入除く）34,140 t

□平成 28 年度寝屋川市ごみ質分析調査結果

6. 啓発状況

(1) 平成 29 年度

5 月：広報特集記事掲載

コミセン祭り（6ヶ所・9日・クード約 700 個）



6月：環境フェア（クード約 370 個）

8月：親子ごみ教室（4家族 12 人（内、子ども6人））

10月：マイバッグ持参運動（平和堂アル・プラザ、フレンドマー
ト、トップワールドの3か所・約 260 個）



11月：アプリ「もっとねやがわ」（何ごみ検索等）運用開始
寝屋川市ごみ減量推進団体登録制度開始
3010 運動コースターの配布



1月：雑紙分別ポスターの掲示（自治会掲示板）

9月～3月：広報誌に焼却処理量掲載

(2) 平成 30 年度

4月～5月：焼却処理量掲載

5月：コミセン祭り（4ヶ所・7日・クード約 500 個）

フードドライブの実施（約 70 kg）

6月：広報特集掲載（環境月間）

環境フェア（クード約 190 個・フードドライブの展示）

7月：小型家電ボックス回収開始（市内 20 箇所）



3010 運動コースターの配布

8月：親子ごみ教室（6 家族 16 人（内、子ども 9 人））

10 月「ごみ減量月間」：懸垂幕・のぼり設置（市役所本庁舎・産業振興センター・保健福祉センター）

マイバッグ持参運動（平和堂、万代、フレスト（寝屋川店・香里園店）の 4 か所・配布数約 280 個）

災害ごみ・ごみ減量のポイント・雑紙啓発ちらしの自治会回覧

落葉のリサイクル開始



11月：3010 運動コースターの配布

鉢かづきフェスタ（第十中学校）での啓発（水切り・雑紙・食品ロス削減）

1月：雑紙啓発（市役所本庁舎玄関ホールの電子掲示板）

(3) 令和元年度（平成 31 年度）

4月：小型家電回収ボックス追加（保健所）

5月：広報掲載

小型充電式電池ボックス回収開始



ダンボールコンポストモニター募集（98人）



フードドライブ実施（167 kg）

6月：環境フェア（雑紙分別体験・フードドライブの展示）



8月：小型家電回収ボックス追加（イオンスタイル四條畷）

3010 運動コースターの配布

親子ごみ教室



10月：ごみ減量啓発（食品ロス削減・生ごみの水分削減・紙の分別）の自治会回覧

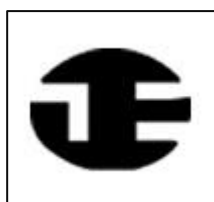
ふれあいフェスタ（市民会館）での啓発

マイバッグ持参運動（ライフ3か所・配布数約 390 個）

11月：3010 運動コースターの配布

鉢かづきフェスタ（第十中学校）での啓発（水切り・雑紙・食品ロス削減）

2月：リユースびんの返却についてのホームページ掲載



7. 結果

令和元年度までの削減量は 3,028 t でした。

令和元年度の計画目標値は 48,099 t で、令和元年度実績と比較すると約 7,200 t 多くなっていますが、計画人口より実際の人口が約 14,000 人多くなっているため、補正した目標値で比較すると約 3,900 t 超過していることとなります。

	年度	焼却処理量 【基本計画 目標値】	焼却処理量 【基本計画 目標値補正】	焼却処理量 【実績】	対基準年度	対前年度	備考
基準年度 (計画中間年度)	平成27年度	52,934	55,598	58,340	-	-	
	(平成28年度)	51,507	54,386	57,083	▲ 1,257	▲ 1,257	
1年目	平成29年度	50,313	53,350	56,051	▲ 2,289	▲ 1,032	3月30日：新焼却施設竣工
2年目	平成30年度	49,140	52,305	56,731	▲ 1,609	680	6月18日：大阪府北部地震 9月4日：台風21号
3年目 (プロジェクト目標年度)	令和元年度 (平成31年度)	48,099	51,386	55,312	▲ 3,028	▲ 1,419	

1万トン削減
目標設定値